

資料提供年月日	令和2年2月17日	
問い合わせ先	課名	財政課
	電話	直通 803-1146 内線 4410
担当者	職氏名	課長 西 課長補佐 宮井

広 報 連 絡

<市長記者会見資料>

- 1 件 名 令和2年度当初予算（案）の概要について
- 2 内 容 別紙のとおり

令和2年度当初予算(案)のポイント

「未来への躍動予算」

令和2年度当初予算(案)は、「第六次総合計画長期構想」に基づく都市づくりの方向性を示す「前期中期計画」の最終年度の予算であり、健全財政を堅持しながら、

○街を楽しむ ○子育て・教育 ○Positive Health Okayama ○災害に強いまちづくり
 の各分野、さらには、○産業、地域の振興 ○SDGsの推進
 などの重点施策に全力で取り組むことで、都市の躍動感を創出し、住みやすさに一層の磨きをかけ、愛着と誇りの持てるまちづくりを市民とともに進めるべく、これまで築いてきた成果を礎とし、未来に向けて更なる高みへ飛躍するための予算として編成しています。

当初予算(案)の規模

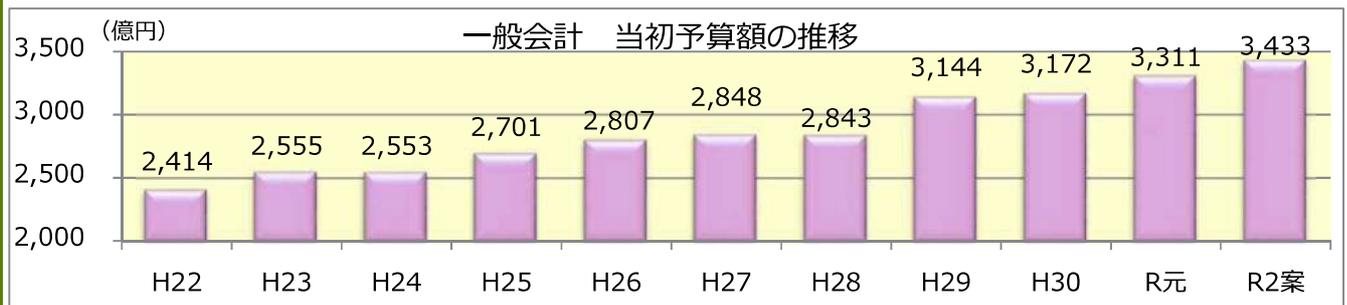
①会計別予算額

(単位：億円)

区分	令和2年度 当初予算(案)	令和元年度 当初予算	増減額	対前年度比
一般会計	3,433	3,311	122	3.7%
特別会計	1,847	1,833	14	0.8%
事業会計	754	757	△3	△0.3%
合計	6,034	5,901	133	2.3%

■一般会計は、幼児教育・保育給付費などの子育て関係費や、岡山芸術創造劇場（仮称）整備、岡山北斎場整備などにより、前年度比+122億円、3.7%の増。

■特別会計、事業会計は、国民健康保険費特別会計及び介護保険費特別会計における保険給付費の増、水道事業会計における管路耐震化等による増、下水道事業会計における建設改良費の減などにより、合計で前年度比+11億円の増。



②歳入・歳出予算の増減主なもの（一般会計）

[歳入]

- 譲与税・交付金 +36億円 消費税率改定に伴う地方消費税交付金の増など
- 国・県支出金 +16億円 幼児教育・保育の無償化に伴う国庫負担金の増など
- 市債 +77億円 岡山芸術創造劇場（仮称）の整備に伴う借入金の増など

[歳出]

- 人件費 +22億円 会計年度任用職員移行に伴う増など
- 扶助費 +14億円 子どものための教育・保育給付費、小中学校就学援助費の増など
- 補助費等 △15億円 プレミアム商品券実行委員会負担金の減など
- 普通建設事業費 +107億円 岡山芸術創造劇場（仮称）、岡山北斎場の整備費の増など

主な施策・事業

(単位：千円)

		R2予算額
■ 街を楽しむ		
公共交通	桃太郎線LRT化	63,000
	路面電車の岡山駅前広場乗り入れ、岡山駅前広場整備	559,300
	地域公共交通再編等の推進	43,500
	路面電車のネットワーク化	30,000
にぎわい 創出	観光案内所整備	73,000
	県庁通り再整備	578,500
	緑（街路樹、公園樹木等）のボリュームアップ 拡充	51,000
	西川魅力にぎわい創出	37,000
	岡山芸術創造劇場（仮称）の整備 拡充	7,309,385
	市街地再開発事業 拡充	1,848,630
	岡山城の魅力アップ	224,610
旭川かわまちづくり	13,200	
■ 子育て・教育		
待機児童 対策	民間保育士の処遇改善（給与加算） 拡充	320,000
	私立園保育支援者配置助成 拡充	44,000
	認可外登録保育施設運営費助成（保育士配置加算） 拡充	54,000
	私立幼稚園助成（預かり保育加算） 拡充	10,200
子ども・ 子育て支援	奨学金の給付（高校） 新規	131,650
	就学援助費等支給（小中学校） 拡充	849,000
	児童虐待防止の推進（保護者支援プログラムの導入等） 新規	11,032
	無償化対象外施設利用児への助成 新規	32,000
	市立幼稚園（6園）における3歳児教育の実施 新規	42,924
	市立放課後児童クラブの運営 新規	650,000
	不育症治療費の助成 新規	5,400
教育環境 整備	英語教育の推進 拡充	180,000
	山南義務教育学校（仮称）整備 新規	926,660
	南部適応指導教室整備	107,000
	夜間教室の運営 新規	3,000

(単位：千円)

	R2予算額
■ Positive Health Okayama	
フレイル対策事業（高齢者の虚弱介護予防）	拡充 10,500
SIBを活用した健康ポイント事業	88,250
AIを活用した健康見える化事業	16,910
在宅介護総合特区推進事業	拡充 83,600
地域共生社会の推進（総合相談支援体制強化、要配慮者向け住まいの確保）	拡充 63,780
生活支援サービス体制整備（生活支援コーディネーター配置拡充等）	拡充 96,600
在宅医療介護連携推進事業	拡充 49,100
救急現場における12誘導心電図の活用による早期治療	新規 11,693
■ 災害に強いまちづくり	
自主防災組織の結成促進・活動支援	拡充 153,744
ハザードマップの更新	37,850
マイタイムラインの普及啓発	新規 700
緊急告知FMラジオの一般販売	新規 3,740
笹ヶ瀬川西部地区のポンプ場整備	328,200
河川の排水機場への浸水状況確認用監視カメラの設置	39,290
緊急情報伝達手段の整備	287,747
■ 産業・地域の振興	
「おokayama・スタートアップ支援拠点」支援事業	15,000
IoT・AI等先端技術導入支援事業	新規 16,000
事業承継支援事業	新規 23,000
企業立地推進事業（IT・デジタルコンテンツ産業を対象に追加）	拡充 487,000
地域の未来づくり推進事業	拡充 218,100
農作物被害対策事業	拡充 88,000
■ SDGsの推進	
SDGs未来都市推進事業（SDGsフォーラムなど）	6,080
岡山ESDプロジェクト推進事業（ESD岡山アワードなど）	拡充 29,000
家庭ごみ有料指定袋へのバイオマスプラスチック導入	新規 118,140
資源循環啓発事業（マイバック運動の推奨など）	拡充 15,920
[再掲] SIBを活用した健康ポイント事業	88,250
[再掲] AIを活用した健康見える化事業	16,910

市長査定項目

(単位：千円)

事業名	内容等	市長査定額	最終予算額
緑のボリュームアップ事業 (街路樹、公園樹木)	歩きたくなるまちづくりを推進するため、街路樹や公園樹木の質、ボリュームを向上させる取り組みを実施	51,000	51,000
緑のボリュームアップ事業 (県庁通り)	県庁通りに、緑あふれ、歩きたくなる、居心地の良い憩いの空間を創出するため、樹形が美しく、楽しいまち歩きに適した木陰を形成する街路樹を植樹	50,000	50,000
岡山芸術創造劇場（仮称） 開設推進事業	新劇場の開館に向け、市民参加型のダンス公演や市民団体との協働事業を実施	10,000	125,000
保育士確保対策	待機児童の解消及び保育の質の向上のため、保育士確保対策の事業期間を延長するとともに、保育士処遇改善率を1%分上乗せ拡充	428,200	428,200
給付型奨学金事業	子どもたちが家庭の経済的理由で高校進学や卒業をあきらめることがないよう、市民税非課税世帯の高校生を対象に奨学金を給付	131,650	131,650
小中学校就学援助費 (給食費)	経済的な理由で就学困難な児童生徒の保護者に対する給食費の就学援助費について、半額支給から全額支給へ拡充	471,000	471,000
英語教育推進事業	指導的立場にある英語担当教員の英語力向上を図るため検定試験のための研修及び試験費用を負担	5,700	5,700
事業承継支援事業	地域経済と雇用の維持・創出のため、従業員への事業承継や市内企業間の事業承継を支援	23,000	23,000
地域の未来づくり推進事業	「ももスタ」を活用した起業者への働きかけや、経済界との協力を進めることにより、対象地域におけるさまざまな事業の参入を促進	23,000	218,100
農作物被害対策事業	R2年度に策定する農作物被害防止計画をより実効性があるものにするため、被害実態調査をR元年度に引き続き実施	2,000	88,000
合 計		1,195,550	1,591,650

健全で持続可能な財政運営

将来世代に負担を先送りしないよう、中長期的な展望に立ち、財政運営の健全性を確保した上で、岡山市の持続的な発展と市民生活の充実に資する取組を各分野で着実かつ積極的に進めます。

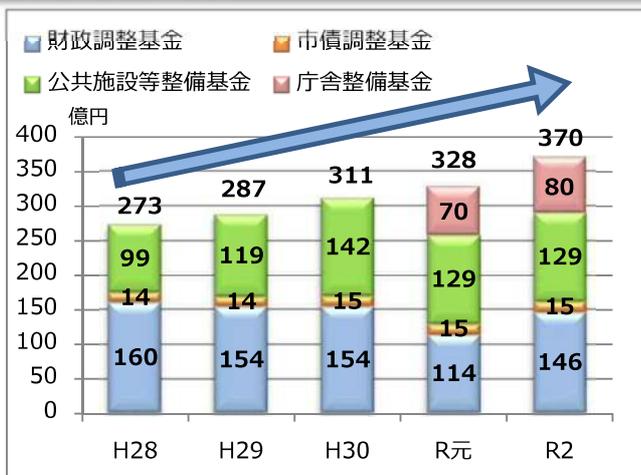
基金残高の推移

当初予算編成後の基金残高は、前年度同期と同水準を維持するよう努めており、令和2年度は財源調整のための3基金と庁舎整備基金を合わせて370億円と、昨年度比で42億円増加しています。これは、公共施設の老朽化対策や再整備などに備えて、必要な財源を確保するために基金に積み立てるものです。

今後とも、財政調整基金の積立額の目安と言われている標準財政規模（約1,950億円）の1～2割程度の残高の確保を図りつつ、各般の政策遂行を財政面で下支えしていきます。

当初予算編成時点の残高（見込み） (単位：百万円)

区分	R元	R2	増減額 R2-R元
財政調整基金	11,390	14,568	3,178
市債調整基金	1,496	1,520	24
公共施設等整備基金	12,874	12,865	△ 9
3基金合計	25,760	28,953	3,193
庁舎整備基金	7,035	8,079	1,044
合計	32,795	37,032	4,237



市債残高の推移

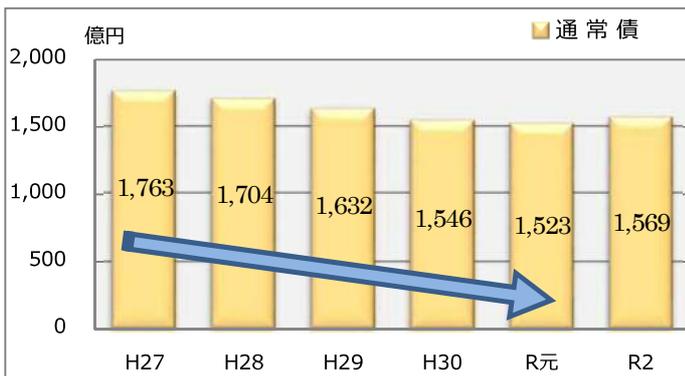
一般会計全体の市債残高のうち、交付税全額算入分(※)を除いた通常債の市債残高については、継続的に減少させてきましたが、令和2年度当初予算では市債借入額の増加に伴い増加に転じています。

公共施設等の老朽化対策や再整備などにより、市債借入額の増加が見込まれることから、後年度に財源措置のある有利な市債の活用を努めつつ、将来の返済が財政を圧迫しないよう、市債残高を管理しています。

(※)交付税全額算入・・・返済のための財源が全額国から手当されるもの

市債残高（一般会計） (単位：億円)

区分	H27	H28	H29	H30	R元	R2
全体	3,132	3,151	3,213	3,268	3,355	3,479
交付税全額算入分	1,369	1,447	1,581	1,722	1,832	1,910
通常債	1,763	1,704	1,632	1,546	1,523	1,569



○令和2年度の通常債借入額は、274億円で前年度より102億円増加しています(前年度比59.4%増)。

○岡山芸術創造劇場(仮称)や岡山北斎場など、喫緊の課題への対応を進める一方で、令和3年度まで発行可能な合併推進債などの交付税算入率が高く財政的に有利な市債を活用することにより、交付税算入がない市債と比較して67億円の一般財源縮減を図るなど、将来の財政負担を抑制しています。

【交付税算入率（合併特例債・合併推進債を活用）】

過去10年平均 31.9% **令和2年度 41.6%**

【参考】一般単独事業債(交付税算入なし)で借入した場合

過去10年平均 17.2% 令和2年度 17.3%

【参考】 H30決算指標（普通会計）

①将来負担比率 9.3 (政令市1位)

②実質公債費比率 6.3 (政令市7位)

③経常収支比率 89.8 (政令市1位)